

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年10月24日更新

事務事業名	接触者・帰国者外来運営事業(旧発熱外来運営事業)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名	澤田勝矢
	施策	1	危機管理・防災対策の推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名	坂井晴代
	施策の柱	2	災害時応急対策		所属班	健康推進班	(内線)	2135
予算科目	会計一般	款4	項1	目2	事業連番11429	根拠法令	新型インフルエンザ特別対策措置法 感染症の予防及び感染症患者に対する	成果優先度評価結果: ④ コスト削減優先度評価結果: ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	重症化率の高い鳥由来などの新型インフルエンザが発生し、市内にまん延した場合に開設する合志市立診療所(接触者・帰国者外来)業務を行なう。新型インフルエンザの疑いがある発熱症状のある者のみを診察し、トリアージや抗ウイルス剤などの投薬を行う。新型インフルエンザが流行した場合のみの事業である。
【業務の流れ】	新型インフルエンザの流行が国内で予測される場合、医師・看護師との診療に係る契約、備品の購入業務等を行なう。本市で流行した場合、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき市立診療所として接触者帰国者外来を運営する。医療スタッフの確保、薬剤の購入、診療、処方、診療報酬請求、職員の確保などが必要となる。原則8週間開設し、診療時間は午前9時から午後9時までの12時間、ただし4週間に1週は24時間体制の時間外診療を菊池郡市内で輪番する。
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、特殊勤務手当、需用費(一般消耗品費・医薬材料費)委託料
【意見や要望】	合志市の医師会員からは、身分保障についてや看護師の確保について難しいのではないかと意見が出ている。郡市の保健協議会で新型インフルエンザ特別対策措置法の制定により、市町で住民接種を行うことになったため、この事業の見直しが必要であるとの意見がでている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
医薬材料等必要物品の備蓄。接触者帰国者外来運営マニュアルおよび新型インフルエンザ対策行動計画の確認を行なう。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア: 医薬材料費の備蓄品目数	種類	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
新型インフルエンザに罹患した人	→ア: 新型インフルエンザに罹患した患者数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
罹患者が診察を受けて重症度に応じた治療を受けることができる。	→ア: 死亡者数	人
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
①活動指標	種類	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
②対象指標	人	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
③成果指標	人	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	9	2	9	10	10	0	0	0
	延べ業務時間	時間	501	15	215	28	20	0	0	0
	(B)人件費計	千円	1,995	59	856	103	79	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,995	59	856	103	79	0	0	0

事務事業名	接触者・帰国者外来運営事業（旧発熱外来運営事業）	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 新型インフルエンザは未発生であった。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 流行状況に応じた迅速な対応で感染拡大を可能な限り抑制し、死亡者数を最小限に抑えることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 菊池保健所・菊池郡医師会および市町レベルでの検討の結果、各自治体での診療所開設予定となっている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 新型インフルエンザ特別対策措置法の制定により、医療機関と行政の役割分担が明確化された。市の役割が住民接種（新型インフルエンザワクチン接種）に切り替わった。

3 評価結果の総括（CHECK）

--	--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input checked="" type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） </p> <p>新型インフルエンザ特別対策措置法の制定により、医療機関と行政の役割分担が明確化された。市の役割が住民接種（新型インフルエンザワクチン接種）に切り替わったための改善が必要</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						